

「稼ぐ」観光検討会ワーキンググループ 議事概要

標記ワーキンググループにおいて、「実証ツアー」の実施内容等について意見交換を実施した。主な意見は下記のとおり。

(1) テーマ、ターゲットについて

- 「森林」や「自然」を活用した体験は、子ども向けに良いのではないかと。
- 一方で、子どもを対象とした企画は、ある程度需要があると思うが、ニーズ以上に人手と労力が要り、事業の目標である「稼ぐ」という視点で考えると、子どもだけに対象を絞るのは難しいのではないかと。
- 孫とその祖父母を対象としたツアーを実施したことがあり、宿や物販施設等で孫のためにお金を使ってくれたということもある。
- 何度かツアーを実施しているが、参加される方は高齢の方が多く、若い方はあまり参加されない。特に、自然を観るような内容は予約が埋まりやすい。
また、親子を対象としたイベントを実施することもあるが、人気はあるが「稼ぐ」ことには繋がっていないため、お金に余裕がある層をターゲットにするのが良いのではないかと。
- 「ヘルスツーリズム」を推していきたい。南会津は「美容や健康」に理にかなった地域だと思っている。山菜、茸、保存食、温泉、森林など「ヘルスツーリズム」に合った地域資源があり、そのあたりを活用した取組が良いと思う。

(2) コンテンツについて

- 山菜、米、水、川魚、酒などといった「食」がある。
- 「食」については、体験とセットにして、自分で採って食べるところまでできると良いのではないかと。
- 南会津には「民宿」がたくさんある。地域の方と一緒にごはんを食べたり、地元の情報がわかったりもする。地元の方との触れ合いがある。
- 民泊は、安く泊まることを目的としている方が多く、民泊したい方をターゲットにするのは、収入が少ない人からお金をとるということで、「稼ぐ」ためのコンテンツにするのは難しいのではないかと。
- 以前、南会津町内で「アロマ」を活用したイベントを実施した際には好評で、特に30～40代の方の参加が多かった。癒しを求めている方が多く、若者向けにも良いのではないかと。
- アロマには集客力があり、1日のイベントで1,500人程集まった事例もある。
- 田島や下郷には、郷土食に「しんごろう」がある。また、木工体験を取り入れ、例えば、木工のプレートを作成し、自分で絵作ったプレートを使ってしんごろうを食べるなどといった木工と食をあわせたものが良いと思う。